

国際シンポジウム

災害復興と国際連携

国境を超えるパートナーシップをめざして

日時 | 2009年 **10月19日** (月) 13:15 » 17:00

会場 | **東京ステーションコンファレンス (丸の内) サピアホール**
サピアタワー5F

趣旨 | 地震・津波だけでなく、気候温暖化や経済開発に伴う自然破壊により、私たちの地球は災害多発時代を迎えています。阪神・淡路大震災、米国のハリケーン・カトリーナなど都市型災害は産業活動や金融のグローバル化に伴い被害も巨大化・広域化の一途をたどっています。一方で、大規模な災害の被害は発展途上国に集中しています。災害救援・災害復興において国境、民族、文化を超えた連携をどのように構築していくべきでしょうか。大学や研究機関は、どのような役割を果たすべきでしょうか。政府レベル、地域レベル、あるいは各級機関レベルで今後、災害に立ち向かうために、連携体制をどう構築していくかについて中国、台湾、そして米国の知の最前線にいる日本に理解の深い研究者・実務者が実際の被災体験を踏まえて話し合います。

プログラム | 開会の挨拶 [13:15]

基調講演 [13:45]

田尻直人 [内閣府政策統括官 (防災担当) 付参事官 (災害予防担当)]

パネルディスカッション [15:00]

●パネリスト

グナ・セルバトユレイ [関西学院大学大学院総合政策研究科COE客員教授・カリフォルニア州立大学サンノゼ校教授]

顧林生 [清華大学都市計画設計研究院公共安全研究所所長]

陳亮全 [台湾大学建築與城郷研究所教授]

ローリー・ジョンソン [ニューオーリンズ復興総合計画UNOP担当者]

●コーディネーター

室崎益輝 [関西学院大学災害復興制度研究所所長]

閉会の挨拶 [16:50]

使用言語 : 日本語・英語 (同時通訳あり)

参加募集 : 定員80名

参加費 : 無料

問合せ : 関西学院大学災害復興制度研究所
fukkou-event@kwansei.ac.jp

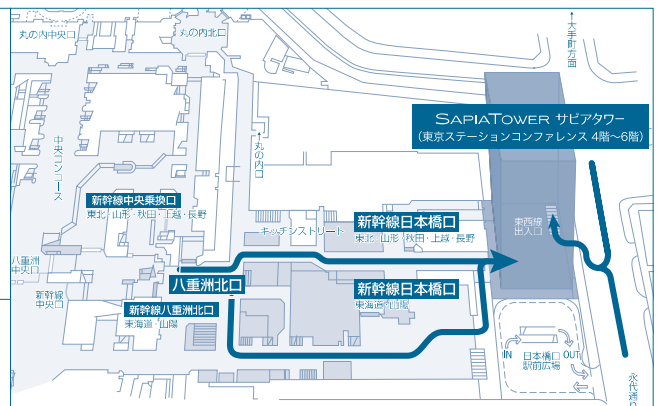
申込み : 関西学院大学特別プログラム事務局
Tel. 03-5651-8875 Fax. 03-3666-9800
受付期間9/4~10/19 (月~金10:00~18:00)
E-mail: fukkou-event@kwansei.ac.jp

東京ステーションコンファレンス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目7番12号サピアタワー (4F-6F) TEL.03-6888-8080 (代表)

○JR東京駅 新幹線専用改札口 (日本橋) より徒歩1分、
八重洲北口改札口より徒歩2分

○東京メトロ東西線大手町駅より徒歩1分
○JR成田空港駅より成田エクスプレスで約60分



[主催] 関西学院大学 / 関西学院大学災害復興制度研究所

[後援] 内閣府 / 文部科学省 / 国土交通省 / 総務省消防庁 / 日本災害復興学会 / 朝日新聞社